

平成19年度 東京海洋大学

公開講座

「船と航海」

—海上輸送と私たちの暮らし—



国立大学法人 東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology

東京海洋大学 公開講座

「船と航海」

—海上輸送と私たちの暮らし—

わが国日本においては、電気・ガスをはじめ、身の回りの日用品や食卓に並ぶ料理など、身近なものをよく眺めてみると、その多くは諸外国からの輸入に支えられていると言えます。これらの生活の基盤であるエネルギーや工業製品の原料・食料品等の多くは諸外国から大量に輸入されています。また、日本の先進的な技術による優れた工業製品が多くの国々へ輸出されています。このようにわが国は輸入・輸出などの貿易により、成り立っていることは既にご存知でしょう。そして、この貿易を支えているものが船舶による海上輸送です。

本公開講座を通じて海上輸送の基本に立ち返って、船舶の生い立ちからその特徴や重要性・先進性、また、周囲をとりまく環境やエネルギーの問題についても解説します。そしてそこに関わる人々について知り、海洋工学部附属練習船汐路丸による航海によって、より広く・深く理解をして頂き、是非、海洋基本法の成立等にも合わせて、より身近に海上輸送について関心をお持ち下さい。

●会場および日時

[講義]

東京海洋大学 越中島キャンパス（海洋工学部） 1号館 111教室

（案内図をご参照下さい。）

平成19年7月17日（火）～20日（金）18時30分から20時30分まで。

[体験乗船]

東京海洋大学 海洋工学部 附属練習船 汐路丸（案内図をご参照下さい。）

平成19年7月21日（土）10時から16時30分まで。（天候等により時間を変更することがあります。）

●プログラム

「海上輸送と船」	7月17日(火)
海洋工学部 海事システム工学科 教授 庄司 邦昭	
人類が歴史をもつようになったときにはすでに船が存在し、古代から物資は海上輸送されていました。このような物資輸送に使われてきた様々な船舶を歴史的に眺めてみます。そして現在、大量に物資を輸送する手段として使用されている貨物船についてその構造や最近の傾向などについて解説します。	

「私たちの生活を支える海上輸送の現状」	7月18日(水)
海洋工学部 流通情報工学科 准教授 黒川 久幸	
私たちの生活を支える多くの物資は、海外から船によって運ばれてきます。海上輸送がストップすれば、私たちの身の回りにある食料や電気といったエネルギーが不足し、大きな社会混乱を招きます。ここでは、この必要不可欠なライフラインである海上輸送について、貿易量からその大切さを見ていきます。 また、地球温暖化に対する取り組みとして、海上輸送にどのような期待が寄せられているのかについても解説します。	

「海洋環境保護における船舶運航の課題について」	7月19日(木)
海洋工学部 海事システム工学科 准教授 南 清和	
<p>船はその大きな船体にたくさんの荷物を積み込み、日々絶え間なく、世界の海を航行しています。その船がひとたび海難をおこせば、その影響は私たちの大切な海の環境に深刻なダメージを与える可能性があります。ここでは船の海難による海洋汚染や海洋環境保全に関しての内容について解説します。また近年、社会においてクローズアップされている船のバラスト水排出による海洋生態系への影響とその問題点についても解説します。</p>	

「海上輸送とエネルギー・環境」	7月20日(金)
東京海洋大学 名誉教授 岡田 博	
<p>近代化した社会では、人は車、飛行機や船を利用して移動し、物を運びます。これらの交通機関には一般に燃料の燃焼によって得られた熱を回転力や往復運動に変えて動力を発生する熱機関が原動機として用いられています。ここでは、主にディーゼル主機関を原動機とした船舶の推進・機関システム、熱効率向上技術、重質油の燃焼技術、機関排出ガス成分の特性と低減技術、排出ガスの規制とその対応、エネルギー動向等について概説します。</p>	

「体験航海」	7月21日(土)
海洋工学部附属練習船 汐路丸 船長 准教授 馬谷正樹 機関長 准教授 池田達也	
<p>講義で学んだことや船の運航について、実際に練習船「汐路丸」に乗船し、関連する陸上の施設や技術などを船上より見学し、船内設備等の見学や技術について実際に体験します。</p>	

※ 開講式および閉講式・修了証授与を以下のとおり行います。

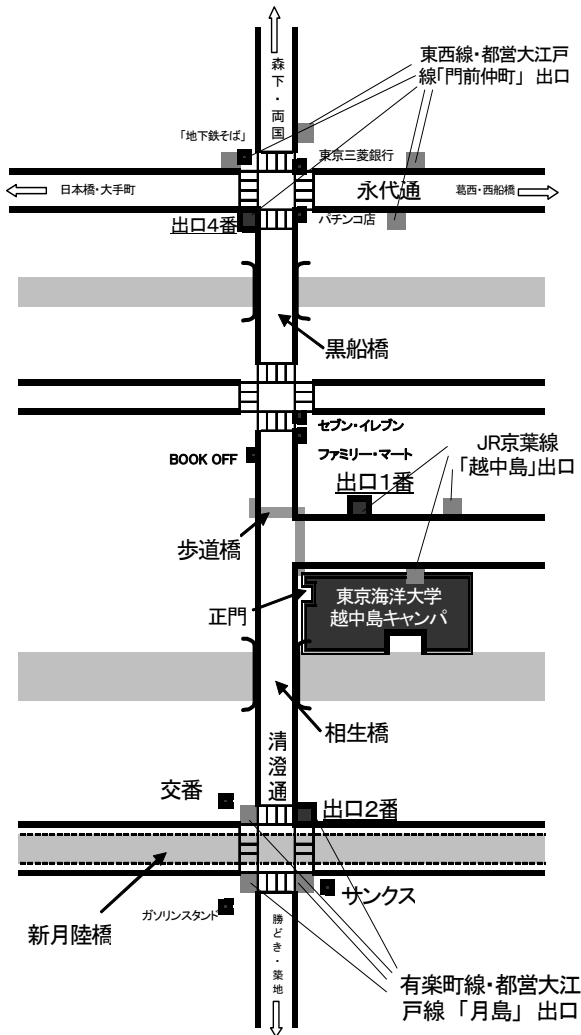
開講式：7月17日(火) 18:15-18:30

閉講式・修了証授与：7月21日(土) 16:15-16:30

- 募集人数：40名
- 申込期間：平成19年 **6月25日(月)～7月6日(金)**
※募集人数になり次第、申込を終了いたします。
- 申込方法：別紙「東京海洋大学海洋工学部 公開講座 申込書(「船と航海」—海上輸送と私たちの暮らし—)」に必要事項を記入のうえ、上記申込期間中に必着するよう下記「申込・問合せ先」に郵送またはFAXでお申し込みください。
また電子メールで申込む場合は、「氏名(ふりがな)」、「住所」、「電話番号」を記入の上、お申込みください。
- 受講料金：7,500円(傷害保険料300円込み)
※申込者に対して受講料金の振込方法をご連絡いたします。
※期間中一回の受講も可能ですが、受講料金は上記受講料金となります。

●東京海洋大学 越中島キャンパス (海洋工学部)

〒135-8533
東京都江東区越中島2-1-6



●都営大江戸線・東西線
「門前仲町」駅
出口4番から徒歩約10分

●JR 京葉線
「越中島」駅
出口1番から徒歩約2分

※東京駅から各駅停車で2つ目
新木場から各駅停車で2つ目
越中島は各駅停車しか止まりま
せんのでご注意ください。

●有楽町線・都営大江戸線
「月島」駅
出口2番から徒歩約12分

●案内図

← 越中島キャンパス

附属練習船 汐路丸 ↓

●申込み・問合せ先

東京海洋大学 総務部

国際・研究協力課

担当者：

研究協力係（福岡、上田）

〒108-8477

東京都港区港南 4-5-7

◇TEL：

03-5463-4197

◇FAX：

03-5463-0359

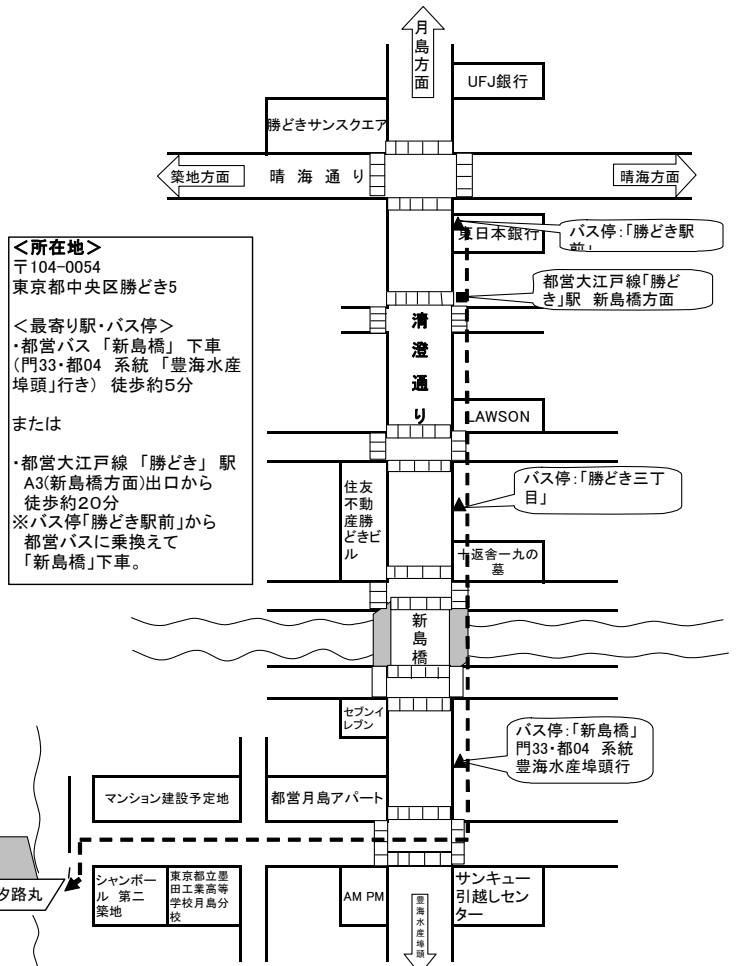
◇E-mail：

kouza@m.kaiyodai.ac.jp

◇講座当日の問合せ先：

03-5245-7310

●東京海洋大学 海洋工学部附属練習船 汐路丸 アクセスマップ



<所在地>
〒104-0054
東京都中央区勝どき5

<最寄り駅・バス停>
・都営バス「新島橋」下車
(門33・都04 系統「豊海水産埠頭」行き) 徒歩約5分

または

・都営大江戸線「勝どき」駅
A3(新島橋方面)出口から
徒歩約20分
※バス停「勝どき駅前」から
都営バスに乗換えて
「新島橋」下車。